

2026 年度



社会福祉法人 恩賜財団 済生会横浜市東部病院

看護師特定行為研修 募集要項



I. 研修概要

1. 看護師特定行為研修制度について

日本では、世界でも類を見ないスピードで少子高齢化が進行しており、2025年には団塊の世代が75歳以上となる。これにより、1人の高齢者を約1.8人で支える社会構造になると推計されている。

このような社会的背景のもと、医療の現場ではニーズの**多様化・複雑化**が進み、チーム医療の中心的役割を担える人材の育成が急務となっている。なかでも、**高度な知識・判断力・技術**を備えた看護師が、医師の作成した**手順書に基づき診療の補助**を担うことで、より質の高い医療提供体制の実現が期待されている。

こうした役割を担う看護師の育成を目的として創設されたのが、「看護師特定行為研修制度」である。

本制度は、以下に基づき運用されている。

「保健師助産師看護師法第37条の2第2項第1号に規定される特定行為および同第4号に規定される特定行為研修に関する省令（2015年10月1日施行）」

2. 研修内容

本研修は、特定行為を医師の手順書に基づいて安全かつ適切に実施することを目的とし、それに必要な思考力、判断力、実践的理解力および専門知識と技術を修得するために設計されている。

研修対象となる特定行為は、全38行為のうち21行為であり、当院ではこれらを下記の4つの専門コースに分類して実施する。

カリキュラムは「共通科目」「区分別科目」「臨地実習」で構成され、すべての受講者が共通科目を学んだ後、それぞれのコースに進む。

1) 研修コース一覧（概要）

コース名	主な対象領域・現場	特徴と内容概要
救命・クリティカル領域	救急外来／集中治療室（ICU）／手術室／人工呼吸器管理	急性期医療における呼吸・循環・鎮静・輸液などの対応に特化した内容
外科領域	術後管理／創傷処置／ドレーン管理	外科的処置および侵襲管理に必要なスキルを習得する
在宅領域	慢性期外来／在宅医療／訪問看護	血糖管理・水分管理・栄養管理などを中心とした継続的支援に対応
在宅・慢性期領域 （厚労省パッケージ）	長期療養者のケア／高齢者在宅支援	包括的かつ複数の特定行為を組み合わせたパッケージ型の研修構成

2) 年間スケジュール（予定）

期間	研修内容	概要
4月～6月	共通科目	eラーニングを中心に実施し、一部集合研修を併用
7月～9月	区分別科目	コースごとの専門内容。講義・演習・筆記および実技試験を実施

10月～12月	臨地実習	指定機関における実地研修。各特定行為について5症例以上の実施・介入が必要
1月～3月末	修了判定・報告会等	最終評価および受講内容の報告・振り返りを実施

※研修修了には、すべての工程を履修し、定められた成績基準・実習要件を満たす必要がある。

特定行為研修カリキュラム	'26年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	'27年 1月	2月	3月
└共通科目(e-learning)												
└共通科目(集合教育)												
└区分別科目(e-learning)												
└区分別科目(集合教育)												
└区分別科目(臨地実習)												
└修了評価												
その他	★入講式	★救急外来実習	★症例検討会 ★共通科目試験			★実習前試験				★症例報告会	★修了試験 ★自施設発表表	★修了式

3. 対象特定行為と募集人員

領域名	特定行為区分	特定行為	定員	
救命・クリティカル領域	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	経口用気管チューブまたは経鼻用気管チューブ位置の調整	7 名	全体で 12 名
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更		
		非侵襲的陽圧換気の設定の変更		
		人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整		
		人工呼吸器からの離脱		
	動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血		
		橈骨動脈ラインの確保		
	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	インスリンの投与量の調整		
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整		
		脱水症状に対する輸液による補正		
	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	抗けいれん剤の臨時の投与		
		抗精神病薬の臨時の投与		
抗不安薬の臨時の投与				
外科領域	腹腔ドレーン管理関連	腹腔ドレーンの抜去（腹腔内に留置された穿刺針の抜針を含む）	6 名	
	創部ドレーン管理関連	創部ドレーンの抜去		
	創傷管理関連	褥瘡または慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去		
		創傷に対する陰圧閉鎖療法		
	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	中心静脈カテーテルの抜去		
	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	インスリンの投与量の調整		
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整		
		脱水症状に対する輸液による補正		
在宅領域	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	インスリンの投与量の調整	3 名	
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整		
		脱水症状に対する輸液による補正		
在宅・慢性期領域 （厚労省パッケージ）	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	気管カニューレの交換	3 名	
	ろう孔管理関連	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換		
	創傷管理関連	褥瘡または慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去		
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	脱水症状に対する輸液による補正		

4. 研修期間

2026 年 4 月～2027 年 3 月末

5. 研修内容

本研修は、全ての特定行為区分に共通する「共通科目」と、特定行為区分ごとに異なる「区分別科目」に分かれる。全受講生で「共通科目」を修了したのち、コース毎に定められた「区分別科目」を履修する。（「区分別科目」の一部を受講する必要のない場合は、別途相談。）講義修了後、臨地実習を行う。

1) 履修科目

①共通科目

- ・ 共通科目の約 2/3 は、S-QUE 研究会提供の e-ラーニングを利用する。
 - ・ 共通科目は、e-ラーニングによる講義と集合教育による演習、実習、試験により構成される。
- ※前半で指定の講義（e-ラーニング）の受講と講義毎の小テストを受け、規定に達した者は後半の演習/実習/科目修了試験に進むことができる。演習/実習は 1 週間に 1 回程度の集合教育となる。

科目	研修時間（目安）	研修方法（※）
臨床病態生理学	30 時間	講義・演習
臨床推論	45 時間	講義・演習・実習（医療面接）
フィジカルアセスメント	45 時間	講義・演習・実習（身体診察手技）
臨床薬理学	45 時間	講義・演習
疾病・臨床病態概論	40 時間	講義・演習
医療安全学	45 時間	講義・演習・実習（医療安全・チーム医療）
特定行為実践		
計	250 時間	

※インターネットへ接続可能な端末が必要

②区分別科目 ※次頁参照

- ・ 講義（一部 e-ラーニング使用）、演習、実習、試験（筆記試験＋区分により OSCE 含む）で構成。選択したコースにより異なる。
- ・ 集合教育は 8 月末～9 月、試験は 9 月中旬以降に予定。

③臨地実習

- ・ 実習は各行為 5 事例の症例介入が必要である。コースにより異なるが約 5～15 日間実施予定。
- ・ 別途、臨地実習終了後症例報告会あり。

【救急・クリティカル領域】

特定行為区分	特定行為	研修時間（目安）
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	10 時間＋臨地実習
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	30 時間＋臨地実習
	非侵襲的陽圧換気の設定の変更	
	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整	
	人工呼吸器からの離脱	
動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	14 時間＋臨地実習
	橈骨動脈ラインの確保	
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	抗けいれん薬の臨時的投与	33 時間＋臨地実習
	抗精神病薬の臨時的投与	
	抗不安薬の臨時的投与	
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	17 時間＋臨地実習
	脱水症状に対する輸液による補正	
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	インスリンの投与量の調整	17 時間＋臨地実習
計		121 時間＋臨地実習

【外科領域】

特定行為区分	特定行為	研修時間（目安）
腹腔ドレーン管理関連	腹腔ドレーンの抜去（腹腔内に留置された穿刺針の抜針を含む。）	9 時間＋臨地実習
栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	中心静脈カテーテルの抜去	8 時間＋臨地実習
創傷管理関連	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	35 時間＋臨地実習
	創傷に対する陰圧閉鎖療法	
創部ドレーン管理関連	創部ドレーンの抜去	6 時間＋臨地実習
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	17 時間＋臨地実習
	脱水症状に対する輸液による補正	
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	インスリンの投与量の調整	17 時間＋臨地実習
計		92 時間＋臨地実習

【在宅領域】

特定行為区分	特定行為	研修時間（目安）
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	17 時間＋臨地実習
	脱水症状に対する輸液による補正	
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	インスリンの投与量の調整	17 時間＋臨地実習
計		34 時間＋臨地実習

【在宅・慢性期領域コース】 ※厚労省パッケージ

特定行為区分	特定行為	研修時間（目安）
--------	------	----------

呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	気管カニューレの交換	11 時間＋臨地実習
ろう孔管理関連	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	19 時間＋臨地実習
創傷管理関連	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	29 時間＋臨地実習
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	脱水症状に対する輸液による補正	12 時間＋臨地実習
計		71 時間＋臨地実習

※在宅・慢性期領域コースでは、当院および外部施設において臨地実習を実施する。

実習施設には「医療法人社団 誠馨会 総泉病院(千葉県)」を予定しており、

当該施設での実習が可能であることを応募条件の一つとする。

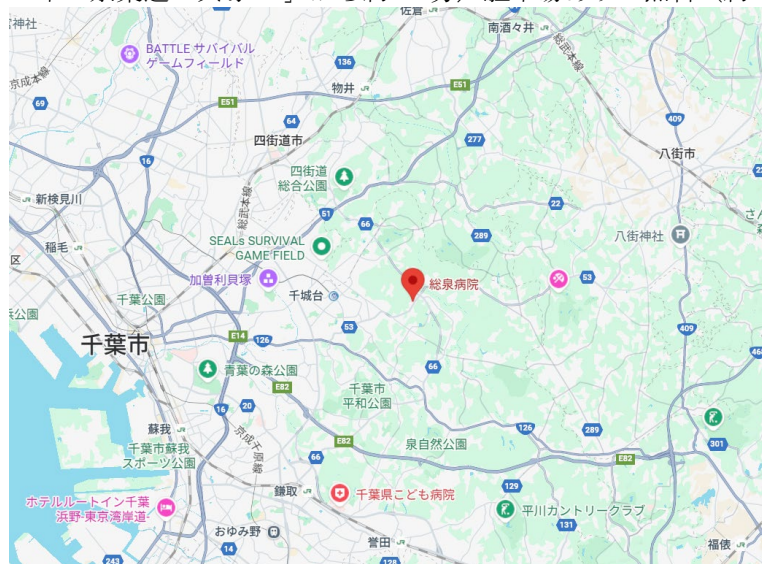
また、過去に当院の本研修を修了した者も受講が可能である。

アクセス：医療法人社団 誠馨会 総泉病院

・〒265-0073 千葉市若葉区更科町 2592

・モノレール「千城台駅」→ バス「総泉病院」下車すぐ

・車：京葉道「貝塚 IC」から約 15 分／駐車場あり：無料（約 200 台）



2) 修了要件

共通科目における評価(筆記試験・各種実習の観察評価)に加え、区分別科目における評価（筆記試験・実技試験・各種実習の観察評価）に合格し、特定行為研修管理委員会における最終判定をもって修了認定する。

3) 時間・場所

- ①e-ラーニングは、各受講者の事情に合わせ受講できるが、演習・実習開始までに全ての視聴、および小テストを終了する必要がある。
- ②当院で実施する講義、演習、実習、試験等の時間割は当院で定める。
- ③原則、平日開講。
- ④集合教育（講義・演習・実習・試験等）は全て済生会横浜市東部病院及び関連施設で行う。

Ⅱ. 募集要項

1. 受講資格

受講申請にあたり、以下の要件をすべて満たしていること。

- 1) 日本国内における看護師免許証を有していること
- 2) 申請時点で、看護師資格取得後に概ね5年以上の実務経験を有していること
- 3) 所属長の推薦を得ていること
- 4) 研修期間中、所属組織において自身が当研修を履修可能である旨を確認していること
- 5) 在宅・慢性期領域コースを希望する場合、総泉病院での実習が可能であること。

2. 選考方法

書類審査・筆記試験（基礎知識）・面接

3. 受講申請書類

以下の書類を提出のこと（※返却不可）

- 1) 入講願書（様式1）
- 2) 推薦書（様式2）
- 3) 履歴書（様式3）

※様式1～3は、次のいずれかの方法で作成する。

①本冊子巻末の「様式1」～「様式3」の写しを使用して記入

②当院ホームページの看護師特定行為研修ページ（下記）から、様式をダウンロードして記入

<https://www.tobu.saiseikai.or.jp/12582-2/>

- 4) 小論文

テーマ：「私が考える看護師特定行為の役割」
書式：Word形式／A4判1枚／横書き／11ポイント／明朝体
字数：800～1,000字程度

- 5) 看護師免許証の写し（A4サイズに縮小コピー）

- 6) 受講審査料の振込を確認できる書類（利用明細書等の写し）

院内生：11,000円／院外生：22,000円（いずれも消費税含む）

【振込口座】 ※振込手数料は受講生負担

銀行名 三井住友銀行 横浜中央支店

口座番号 普通口座 7190952

フリガナ フカノサトウケン サイケイケン カガワケン サイケイ コハマシツブヒョウケン イダノカガチ インチヨミミカヒコ

口座名義 社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川県済生会横浜市東部病院医業外口院長三角隆彦

※銀行で発行される利用明細書をもって、本件の領収書とする。

4. 書類提出方法

上記3. の書類一式を、以下宛先に郵送のこと（院内応募者は当室に持参可能）

230-8765

横浜市鶴見区下末吉3-6-1 済生会横浜市東部病院
人材開発センター 看護師特定行為研修室 事務局 宛

5. 書類提出期間

2025年10月10日（金）～2025年11月7日（金）17時まで

※郵送の場合、11月7日（金）必着

6. 選考試験

・試験日 2025年12月5日（金） ※試験会場は、後日個別に案内

時間	内容
12:45	受験者集合、諸連絡
13:00 ～ 14:00	筆記試験
14:00 ～	面接試験（筆記試験終了後 順次実施・随時解散）

7. 選考結果

・2025年12月下旬に郵送で可否を通知

8. 受講手続

可否通知に同封される別紙にて詳細を案内

- ・受講に際し、当院が指定する賠償責任保険に加入が必須となる。
- ・合格者は、次項に定める受講料を、**2026年1月30日（金）**までに振込（振込口座は合格通知時に案内。納入後の返金不可）

9. 受講料

(税抜)

コース	院内受講生	院外受講生
①救命・クリティカル領域	¥602,000	¥642,000
②外科領域	¥564,000	¥604,000
③在宅領域	¥364,000	¥404,000
④在宅・慢性期領域	¥391,000	¥431,000

※④は厚労省パッケージ

※受講料には演習・実習費、施設使用料を含む

※別途、消費税（受講料の10%）を加算

※教科書等の指定教材は原則なし（参考図書は各自購入）

※交通費・宿泊費等は実費負担

10. 本件問い合わせ先

済生会横浜市東部病院 人材開発センター 看護師特定行為研修室 事務局 （担当：熊谷・西川） 電話 045-576-3000 / mail tokutei@tobu.saiseikai.or.jp

記入日： 年 月 日

入 講 願 書

社会福祉法人 恩賜 済生会支部

神奈川県済生会横浜市東部病院 院長 殿

私は、下記の済生会横浜市東部病院看護師特定行為研修に入講したく、関係書類を添えて出願いたします。

記

ふりがな		(院内のみ) 職員番号	
氏 名	㊟		
所 属		役 職	
出願領域 希望する出願領域に✓印 を付してください。 (詳細は※補足参照)	☐ 救命・クリティカル領域		
	☐ 外科領域		
	☐ 在宅領域		
	☐ 在宅・慢性期領域 (パッケージ)		
出願理由 (自由記入)			

※補足：出願領域の記入について

第一希望の領域が不合格となった場合に、他の領域でも受講を希望される方は、✓印ではなく、希望する領域に受講の優先順位（1、2、3…）を記入してください。

記入日： 年 月 日

推薦書

社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部
 神奈川県済生会横浜市東部病院 院長 殿

【推薦者】

所属：

役職：

氏名： _____ (印)

済生会横浜市東部病院 看護師特定行為研修の受講生として、次の者を推薦いたします。

受講志願者氏名	
推薦理由	

※推薦するにあたり、専門性・協調性・判断能力など総合的なご意見もお書きください。

履 歴 書

年 月 日現在

カラー写真貼付
(4.5 cm×3.5 cm)

- 1 最近6ヶ月以内に撮影したもの
- 2 写真裏面に氏名を記入すること

ふりがな 氏 名		性別 () 年 月 日生 (満 歳)	
現住所		〒 —	
連絡先		自宅: () / 携帯: () メール: _____ ※セロとオ、ハイフンとアンダーバー等、紛らわしくないように明瞭に記載のこと。	
勤 務 先	ふりがな 名 称	〒 —	
	所在地	TEL ()	
	職 種	職 位	
免 許	(看 護 師)	年 月 日	免許取得 号
	(保 健 師)	年 月 日	免許取得 号
	(助 産 師)	年 月 日	免許取得 号
学 歴	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
* 高等学校以上について記載してください。			
職 歴	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		

	年 月	
*施設名に加え、診療科を記載してください。		

所属施設での 委員会活動等	
これまでに 取得した 医療関連の 資格	
所属学会	

*記入欄が足りない場合は、適宜行数を増やして記載すること。